

様 式 F - 7 - 2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	3 2 6 0 4
研究 代表者	部局	国際センター		
	職	講師		
	氏名	伊藤 みちる		

1．研究種目名 基盤研究(C)（一般） 2．課題番号 17K02034

3．研究課題名 旧英領カリブの多文化共生社会に関する実証的研究：白人性のオーラルヒストリー分析

4．補助事業期間 平成29年度～令和元年度

5．研究実績の概要

最終年度の研究実績は以下の3つに集約される。

英語・日本語の学術論文以外に、2017年度から本助成を受けて取り組んで来た「旧英領カリブの多文化共生社会に関する実証的研究：白人性のオーラルヒストリー分析」を、学界のみでなく一般市民をも対象として、イギリスの雑誌に"White Identity in the Caribbean"と題し発表した。

2月4日から20日までの期間、トリニダード・トバゴ共和国において聞き取り調査、および西インド諸島大学、トリニダード・トバゴ大学、現地国立図書館や聞き取り調査参加者の自宅などで第一次史料の収集を行った。また西インド諸島大学において、海外研究協力者らとの研究会を実施した。未だカリブ海地域におけるヨーロッパ系市民に関する社会学的研究は僅少であるため、現地調査・報告を全面的に支援するとの申し出をいただいた。

同期間、西インド諸島大学において、現地研究者や学生、一般市民を対象とした研究発表会を実施し、広く研究成果を発表することができた。また同テーマの研究への参加希望者が多数名乗り出てくれたことで、後続研究への確かな足がかりを得ることができた。さらに一般市民のうち複数のヨーロッパ系市民からは、配布資料として提示した、1970年代を生きたヨーロッパ系市民が、インド系とアフリカ系がヨーロッパ系から搾取され続けてきた「ブラック」として一丸となり社会における不平等是正を求めた、米国の公民権運動から派生した「ブラック・パワー運動」から、彼らの白人としての意識にどのように影響したのかという語りにも共鳴したとの反応を得た。ヨーロッパ系市民が白人であることを強く認識させられた「ブラック・パワー運動」に焦点を当て、どのようにカリブ海地域のヨーロッパ系市民の白人性形成が影響を受けたかについて、後続研究として考えたい。

6．キーワード

白人性 オーラルヒストリー カリブ トリニダード ジャマイカ バルバドス アイデンティティ

7．研究発表

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 1件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 2件）

1．著者名 Ito, Michiru	4．巻 29
2．論文標題 Questioning Whiteness: “Who is white?” A case study of Barbados and Trinidad	5．発行年 2019年
3．雑誌名 International Journal of Human Culture Studies	6．最初と最後の頁 129-137
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1 版

1. 著者名 Ito, Michiru	4. 巻 113
2. 論文標題 White identity in the Caribbean	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Research Outreach	6. 最初と最後の頁 102-105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件(うち招待講演 1件/うち国際学会 0件)

1. 発表者名 Ito, Michiru
2. 発表標題 White Identity in the Caribbean
3. 学会等名 UWI Public Lecture (招待講演)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計0件

8. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件(うち出願0件/うち取得0件)

9. 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

10. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

11. 備考

-